続会生にきの常と

けとき触な連のは、

て捉てれ出続生学

ほえい、来で活習

チはあらなりけレが常てねに中聞えな、壁理ャ、りゆ出、でン大にいてチのか、んそをか

レ成まる来人なジ切前く現ャ多せ乗だの感も

し、く悩事すに見いいにすの様で自きのあ気い前上むなでも仕っても、一人となった。

④ ③ ②①そ進間テ数各反の路にスの教省

理目つト推科の

由標い前移の内

に高てのに点容 つ校 家つ数に

学

習

時

庭い並つ

たてでの。 でていて。

合

計

点

いと

. て学

並

Ü

ジにすの様

てく

チはがし功重るちれとい

ャ、あ、者要よをはがし

レ失り多はでう前成多とのになった。

つ回めで

で向でこど 多 すきのと、小く

成成失 ^{放火}
功功敗**₹**

すへの るの恐境

といよ はがり

出強

来く

なな

いけ

う

多

れ

ば

と家とてい

者実

が**族**いあき専相力30 **重で**うりま願談テ日

要話間ます・をスへ

としです。併行ト火

マストン 三三を他 をいるた等校基予

いてきる・に定たのに

にのに決私第の

も、つして校三回

持にあ話し高回3

ビ

ル

ゲ

イ

原いが 原いが の

レンジすること

攻め

生

で向でこど 多事 る屈成敗な に切ゃまち 切ら必り けきのと、小く)チこせ長をこ世言りンすか「でれず、日 °に壁はあさあだャとずし重とのい替スがら無すな出壁々 。以てに生 きます。 は **ٽ** ح い 思かれ チ中 でうことがし、これをこれがし、すること で 悩 が超とん 大えがだ

にト なの8 ら成月 れ績にた表行 でをわ し配れ よ付た うかこ ? し回 た実 だかご

覧ス

ていいい

くつけい 人点数 にです。

22

月

週

(7)

部朝

活会

動·

中器

止楽 部

決意表

明

1 人目で、める

放しなければ に実力をつけ に実力をつけ によりをかける にま力をかける にも にも にま力をかける にま力をかける にま力をかける にま力をかける。

23

火

℀

秋

分

0

日

部

活

動

中

止

実践↑ 自己採 い実にし て力も、うか 較ス6かイ 点 (テスト) 検ト月 。ク Ţ 計の28ぜル 分 し結日ひは て果に、身 析 1 果に、身と実進に 反 作 省) 戦 だ以施路つ 1 下し実い このた現て ←計 。点第のい 画 に1たる

第第第第第

76543

00000

月月月月月 9 9 252430

日日日日日

月金火金火

24

水

111109

自きのあ気

る学 習 9月19日(金) 3 発行責任者 年 泉崎中学校長

0

健

第19号

角田敏文

教 育

0 目 標

0 し思 自 ß び ٧ る

生

徒

に

成

長

よい 康 や う とり 積 すが 極 るあ 的 生り な 徒 生 共 徒

ŧ た ち が を 語 IJ 合 う

ど

子

学



よ生自う生最とれう**この解るく**問りた

のそしかがっ で L ンらると は てジなは待 な 理しかずっ く、 **性し**// がて かあい 理すいたあい

くでそ倍ら**すりび**トだきの・な**。実に**が 。 実にが24 いせに倍でい、践計行目 ん後苦いろの画 れ水 俊舌いつ **学表**ま 悔穷るv **習は**す25 てる、な**ご配っ** てる、な 家てる、な**)配**。 **配**し付す で取と校もいってしている。 一返な試つ る計範 声すりでけ

んテすをるだ」に、。ス。上こ届と心 27 25 26 倍 木 土 金 迈 県 泉 部中 部中 南 語 活間 活間 崎 ļ 幼 新 検 入ソ 定 中テ 中テ 稚 1 止ス 止ス 粛 ゃ ラ 運 \vdash 動 テ 倍 会 ニス は画囲 迈 28 大会 かこまはて**は画囲**間 けとす、今**ず表表**テ かこ。 けとす、今**り**で ては。十や**で通並**ス 日

行 校 事 予 定 けごトジホこ

けこトジホこ ま覧フが | の すいオスムQR 。たンマペか だで11ら 🔳 📆